

各 位

会 社 名 株式会社ホロン
 代表者名 代表取締役社長 穴澤 紀道
 (J A S D A Q ・ コード 7748)
 問合せ先 取締役総務部長 加藤 邦彦
 電 話 04-2945-2951

たな卸資産評価損の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成22年3月期第2四半期会計期間におきまして、たな卸資産評価損を計上するとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月12日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. たな卸資産評価損について

当社は「棚卸資産の評価に関する会計基準」に基づき、たな卸資産について評価の見直しを行った結果、当第2四半期会計期間において、たな卸資産評価損 28 百万円を売上原価に計上することとなりました。

2. 業績予想の修正について

平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)
 (単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	557	41	40	36	1,077.68
今回修正 (B)	585	5	8	6	198.51
増減額 (B - A)	28	△36	△32	△30	—
増 減 率 (%)	5.0	△87.8	△80.0	△83.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	104	△459	△473	△482	△14,430.93

修正理由

当第2四半期累計期間の売上高につきましては、当社の主力製品であるフォトマスク用寸法測定装置「EMU」の販売がほぼ順調に推移し、前回予想を確保する見込みであります。損益につきましては、たな卸資産について評価の見直しを行なった結果、たな卸資産評価損 28 百万円を売上原価に計上することとなりましたので、それに伴い営業利益、経常利益及び四半期純利益がそれぞれ減少し、前回予想数値を下回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、景気の先行きは依然不透明であり、今後の営業努力及び当社顧客の動向を鑑み、現時点では前回予想数値のまま変更いたしません。

※上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上